

7 家庭教育支援の充実、幼児教育の充実

(1) プログラム開発の背景

近年、核家族化や少子化等の家族形態の変化や、地域社会のつながりの希薄化等を背景に、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立してしまうなどの状況から、家庭教育の支援の充実が求められている。

また、幼児期に忍耐力や協調性といった非認知的能力を身に付けることが、その後の生活に大きな差を生むという研究成果など幼児教育の重要性への認識が高まっている。

このことから、道立青少年体験活動支援施設においても、親子で同じ体験を共有したり保護者同士で子育ての経験を話したりする機会を提供し、体験を通して親子間や家族間の交流を深めることができるプログラムを開発するものである。

(2) 道及び道教委の主な関連施策

・北海道総合教育大綱 基本方針Ⅰ 新たな社会を生きる力を育む「幼児教育の充実」

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、幼児教育推進センターを拠点として、市町村や幼児教育施設等と連携し、保育者の資質と専門性の向上を図ります。

家庭教育及び子育てに関する学習機会や情報の提供など、家庭の教育力の向上に努めます。

・北海道教育推進計画 施策項目 17 家庭教育支援の充実

子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた取組を促進するとともに、市町村や関係団体、企業等との連携・協働による地域における家庭教育支援活動を支援し、家庭の教育力の向上を図ります。

・北海道教育推進計画 施策項目 18 幼児教育の充実

幼稚園が地域における幼児期の教育センターとしての役割を果たしていくため、子育て支援活動の推進を図るとともに、幼児期における教育の質の向上が図られるよう、幼稚園、認定こども園、保育所と小学校との連携を促進します。

・第3次北海道生涯学習基本構想 視点2 3-(1) 「地域との豊かなつながりの中での家庭教育の推進」

子育て家庭が孤立しやすく、不安を抱える親が多くなっていることから、子育てに自信をもたせるための学習プログラムの開発や内容の充実、学びの支援や継続的な相談対応、情報提供や親同士の交流の促進など、親の育ちを支援することが必要です。

(3) 各施設における事業名と主なアクティビティ等

砂川	あっぷるクラブ	
令和2年9月26日(土)～27日(日) (1泊2日)		リンゴ狩り体験、親子別プログラム(カフェ、体育館遊び)、マップリーディングなど
深川	ネイパル深川 親子 de チャレンジ	
令和3年2月20日(土) (日帰り)		親子別プログラム(子育てハッピーセミナー、創作活動)、遊びリンピックなど
森	家族ふれあい広場 ネイパルで雪遊び	
令和3年2月20日(土)～21日(日) (1泊2日)		スノーシューハイク、スノーキャンドル、親子別プログラム(子育て意見交流、創作活動)など
北見	家族ふれあい広場	
令和3年1月16日(土)～17日(日) (1泊2日)		伝統的な遊び、凧作り・凧揚げ体験、餅つきなど
足寄	アグリ村のわんぱく隊Ⅱ	
令和2年9月5日(土)～6日(日) (1泊2日)		野菜の収穫体験、調理活動、大収穫パーティーなど
厚岸	家族ふれあい広場	
令和2年9月5日(土)～6日(日) (1泊2日)		森のウォークビンゴ、親子別プログラム(茶話会、遊びリンピック)たき火、目かくしトレイルなど

あっぷるクラブ

1 事業のねらい

家族での自然体験活動や宿泊体験活動等を通して、子どもの基本的な生活習慣の定着を図る。

2 事業の概要

- 期日 R2.9.26(土)~27(日) 1泊2日
- 対象 幼児(4才以上)~小学3年生及びその家族
- 人数 12家族27名
- 場所 ネイパル砂川
- 協力 三谷果樹園(砂川市)

3 プログラム

	13:50 14:00		16:10 16:30 17:30 18:30				19:30 22:00		
9/26(土)	受付	集合説明	活動1(三谷果樹園) 「りんごがりをしよう」	出会の集い	休憩	夕食	活動2(ネイパル砂川) 「ふれあいひろば」 【保護者】親カフェ 【子ども】体育館で遊ぼう	入浴等	就寝
	7:30 9:00		10:30		11:00 11:15				
9/27(日)	起床	朝食	活動3(子どもの国) 「みまもりんごをさがせ」 ○家族でマップリーディング	活動4 「家族でメッセージ交換」	ふりかえり	解散			

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 地域資源を生かした体験プログラム
 - ・砂川市にある三谷果樹園でのりんご狩りや子どもの国でのマップリーディングなど地域資源を活用したプログラムを親子で体験することにより、地域の良さを味わうとともに親子の交流が図られるよう工夫した。
- 子育てについて交流する保護者プログラム
 - ・活動2では、親子で別々のプログラムを実施し、保護者を対象とした「親カフェ」を実施することにより、参加者同士が交流を行い、家庭教育や子育てについて課題を共有できる場とした。

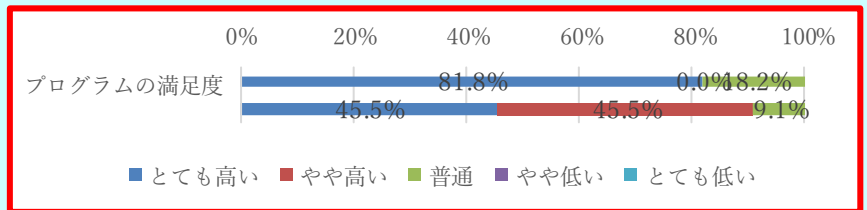


地域資源を生かした体験活動



子育てについて交流する

5 事業の評価



- アンケートから、「子育てに関する気づきや発見」に関する項目で、90%以上が肯定的な評価をした。
- 早い段階で子どもたちが交流できる時間があるとよかったと思う。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「家ではわからない子どものがんばりを見ることができた」などの声が多かったことから、家族と一緒にふれあう時間の確保が、子育てに関する気づきや発見につながったと考える。
- 親子や家族同士が交流しながら、基本的な生活習慣の定着につながるような学びや活動を効果的に設定する必要がある。



企画のポイント

親子と一緒にふれあう時間を確保するほか、保護者が子育てについて学ぶ場面の設定。

親子 de チャレンジ

1 事業のねらい

親子での体験活動をとおして、親子の絆や参加者同士の交流を深めるとともに、家庭での保護者の子どもとの関わり方を見直す機会とし、家庭の教育力を高めるきっかけとする。

2 事業の概要

- 期日 R3.2.20(土) 日帰り
- 対象 幼児(年中)～小学3年生とその保護者
- 人数 6名
- 場所 ネイパル深川
- 協力 吉田育子氏(子育てハッピーアドバイザー)

3 プログラム

10		11		12	13	14:00		15	
受付	開会式	つくってあそぼう (創作・子ども)		昼食	遊びオリンピック2020 (親子)		閉会式	解散	
		子育てハッピーセミナー (講座・保護者)							

4 ねらいを達成するための活動の工夫

■専門的な子育て講座

- ・保護者向けのプログラムに子育てに専門的な知識を持つ講師を招くことで、子育てに熱心な保護者にとって、家庭での子どもとの関わり方を見直し、多くの学びが得られる場になるようにした。

■講座の成果を生かす機会

- ・午前中に子どもが作った物を使って午後からの親子プログラムをすることで、保護者が子どもを褒めることにつながり、講座で学んだ子どもの自己肯定感を高める関わり方を実践できるようにした。



子育てを見直すセミナー



自己肯定感を高める関わりを実践

5 事業の評価

■参加者の声

〈肯定的な意見〉

- ・子育てハッピーセミナーでは、子どもの自己肯定感を育むことの大切さを再認識することができた。
- ・子どもの自己肯定感が育つような関わりを、これからも続けていきたい。

〈その他の意見〉

- ・父親にもこのような学習や子どもと遊ぶ機会となるような事業があるとよいと思う。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 専門的な知識を持つ講師による講座やその成果を活かす場を意図的に設定することで、保護者にとって深い学びの機会となり、子育てに対して自信を持てるようになったと考えられる。
- 家庭全体の教育力向上のために、アウトドアプログラムを取り入れるなど、父親の参加を促す手立てを検討する必要がある。



企画のポイント

専門的な学習と、すぐに学びの成果を生かすことのできる場面の意図的な設定